

はじめに

弊社エイセルの製品をご愛用いただき、まことにありがとうございます。

ここでは、オンラインアップデート版のインストールまでの手順をご説明いたします。

インストールの手順等についての情報は、UNIX フィルターの取り扱い説明書 (UXFilter.pdf) に詳しい説明がございます。

インストールの際の、注意点等の情報がございますので、是非ご一読されますようお願いいたします。

また、本製品はモノクロプリンタ用 UNIX フィルター Ver2.1.0 以降をお持ちの方を対象にした、アップデートインストール版です。本製品は、Ver2.1.0 以降のモノクロプリンタ用 UNIX フィルターとの差分のみのご提供となります。

モノクロプリンタ用 UNIX フィルターをお持ちでないお客様は、通常インストール版を、Ver2.1.0 未満のモノクロプリンタ用 UNIX フィルターをお持ちのお客様は、アップデートインストール版をご用意しております。詳細は、本製品を購入された販売店までお問い合わせ下さい。

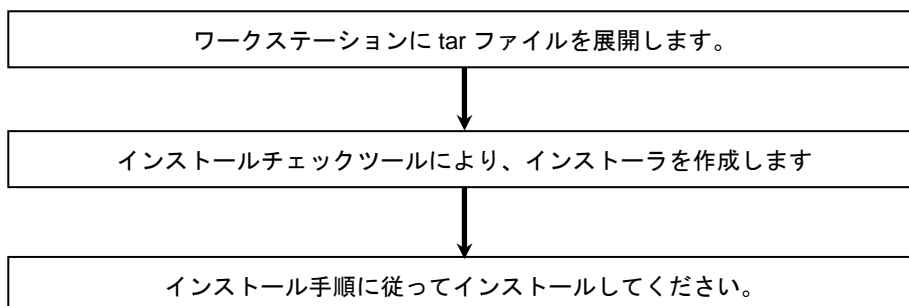
オンラインアップデート版 UNIX フィルターの使用方法

オンラインアップデート版の構成

UNIX フィルターのアップデート版は以下のファイルで構成されています。

UXFILTER.tar	tar 形式で作成された UNIX フィルターのインストールパッケージ
UXFilter.pdf	UNIX フィルターの取扱説明書 (インストールガイド)
UFPTool.pdf	GUI ツール ufptool の取扱説明書
LPRng.pdf	Linux (LPRng 環境) 用のプリンタ設定ガイド

インストール手順概要



ソフトウェアのインストール

- ① ダウンロードした tar ファイルをワークステーションのディレクトリにコピーします。
注記 ▶ スーパーユーザーの権限をもっていない場合、システム管理者に設定を依頼してください。

- ② 環境変数 LANG の設定を行います。

/bin/csh の場合

```
setenv LANG C
```

/bin/sh の場合

```
LANG=C; export LANG
```

- ③ tar ファイルからインストールに必要なファイルを取り出します。
ここでは"/tmp"にファイルをコピーしたと仮定します。

```
# cd /tmp
# tar xvf ./UXFILTER.tar
```

以下のファイルが取り出されます。

- ▶ README UNIX フィルターの README ファイル
- ▶ ufinstchk UNIX フィルターのインストールチェックツール
- ▶ ufilter2.tar UNIX フィルター本体を格納したパッケージ

- ④ インストールチェックツールを起動して、インストーラを作成します。「./ufinstchk」と入力して、オンラインマニュアルファイルのチェックを行います。

```
# ./ufinstchk
```

補足 ▶ インストールチェックツールは、オンラインマニュアルファイルを元にチェックを行います。

- ⑤ 以前のバージョンの、UNIX フィルターのオンラインマニュアルファイルの格納位置を指定します。各 OS 毎に以下のようなデフォルトディレクトリが指定されますので、それ以外にオンラインマニュアルファイルを格納されている場合は"n"を入力し、マニュアルファイルの位置を指定します。

[SunOS/Solaris]

```
# Manual file directory is '/usr/share/man/ja'? [y/n] : n
# Manual file directory is '/usr/man/japanese'? [y/n] : y
```

[HP-UX]

```
# Manual file directory is '/usr/man/japanese.euc'? [y/n] : y
```

[Linux]

```
# Manual file directory is '/usr/share/man/ja'? [y/n] : n
# Manual file directory is '/usr/man/ja_JP.eucJP'? [y/n] : n
# Manual file directory is '/usr/man/ja_JP.ujis'? [y/n] : y
```

補足 ▶ オンラインマニュアルファイルのデフォルト格納位置は、上記のいずれかになっています。

デフォルトディレクトリ以外を指定したい場合は、"n"を入力すると次の質問が行われますので、オンラインマニュアルファイルの格納されているディレクトリを入力します。

```
# Enter manual file directory. : /usr/local/man/ja
# Directory is '/usr/local/man/ja'? [y/n] : y
```

オンラインマニュアルファイルのチェックが行われます。

```
# Checking manual files...
# done.
```

チェックが完了すると、以下のメッセージが表示され、カレントディレクトリにインストーラが作成されます。

```
# Making installer...
# done.
# Installer making was successful.
```

チェックエラーとなった場合、以下のメッセージが表示されます。

```
# File check Error : File not found. Installer wasn't made.
```

注記 ▶ チェックエラーとなった場合は、インストーラは作成されません。UNIX フィルターのオンラインマニュアルファイルの格納されているディレクトリをご確認下さい。また、Ver2.1.0 以降のオンラインマニュアルが、インストールされていない場合もエラーとなります。必ず、Ver2.1.0 以降のオンラインマニュアルの格納されているディレクトリを指定してください。

次の警告メッセージが表示された場合は、作成されたインストーラによるバイナリアップデートは行わないください。インストーラより新規にプリンタの追加を行ってください。

```
# WARNING
# DocuPrint 205/255/305
# DocuPrint 340A
# DocuPrint 350JM
# DocuPrint 405/505
# DocuPrint 2060/3050
# DocuPrint 3100/3000
# DocuPrint 4050
# DocuPrint 5060/4060
# DocuCentre 1085/1055/185/155
# DocuCentre f285/f235/a285/a235
# DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000
# ApeosPort 450 I/350 I
# DocuCentre 450 I/350 I
# ApeosPort 750 I/650 I/550 I
# DocuCentre 750 I/650 I/550 I
# ApeosPort-II 3000/4000
# DocuCentre-II 3000/4000
# ApeosPort-II 7000/6000/5000
# DocuCentre-II 7000/6000/5000
# DocuCentre-III 3000/2000
# ApeosPort-III 4000/3010
# DocuCentre-III 4000/3010
# ApeosPort-III 7000/6000/5000
# DocuCentre-III 7000/6000/5000
# DocuCentre-IV 3060/2060
```

```
# ApeosPort-IV 4070/3070
# DocuCentre-IV 4070/3070
# ApeosPort-IV 7080/6080/5080
# DocuCentre-IV 7080/6080/5080
# 4112/4127
# not installed
```

- ⑥ 「./install.sh」と入力して、インストーラを起動します。

```
# ./install.sh
```

注記 ▶ 本製品のみのご使用では、インストーラから選択できるプリンタは、

```
DocuPrint 305/255/205、
DocuPrint 340A、
DocuPrint 350JM、
DocuPrint 505/405、
DocuPrint 2060/3050、
DocuPrint 3100/3000、
DocuPrint 4050、
DocuPrint 5060/4060、
DocuCentre 1085/1055/185/155、
DocuCentre f285/f235/a285/a235、
DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000、
ApeosPort 450 I/350 I、
DocuCentre 450 I/350 I、
ApeosPort 750 I/650 I/550 I、
DocuCentre 750 I/650 I/550 I、
ApeosPort-II 3000/4000、
DocuCentre-II 3000/4000、
ApeosPort-II 7000/6000/5000、
DocuCentre-II 7000/6000/5000、
DocuCentre-III 3000/2000、
ApeosPort-III 4000/3010、
DocuCentre-III 4000/3010、
ApeosPort-III 7000/6000/5000、
DocuCentre-III 7000/6000/5000、
DocuCentre-IV 3060/2060、
ApeosPort-IV 4070/3070、
DocuCentre-IV 4070/3070、
ApeosPort-IV 7080/6080/5080、
DocuCentre-IV 7080/6080/5080、
4112/4127のみです。
```

ソフトウェアのアップデート

本アップデート版では、バイナリファイルのアップデートのみを行うメニューが、インストーラに存在します。バイナリのアップデートは以下のように行います。

- ① 上記ソフトウェアのインストールの⑥でインストーラを起動すると、以下のように表示されますので、「31」を選択し、バイナリファイルのアップデートを選択します。

```
Printer Model?
 1. DocuPrint 305/255/205
 2. DocuPrint 340A
 3. DocuPrint 350JM
 4. DocuPrint 505/405
 5. DocuPrint 2060/3050
 6. DocuPrint 3100/3000
 7. DocuPrint 4050
 8. DocuPrint 5060/4060
 9. DocuCentre 1085/1055/185/155
10. DocuCentre f285/f235/a285/a235
11. DocuCentre f1100/f900/a1100/a900/9000
12. DocuCentre 450 I/350 I
13. ApeosPort 450 I/350 I
14. DocuCentre 750 I/650 I/550 I
15. ApeosPort 750 I/650 I/550 I
16. ApeosPort-II 3000/4000
17. DocuCentre-II 3000/4000
18. ApeosPort-II 7000/6000/5000
19. DocuCentre-II 7000/6000/5000
20. DocuCentre-III 3000/2000
21. ApeosPort-III 4000/3010
22. DocuCentre-III 4000/3010
23. ApeosPort-III 7000/6000/5000
24. DocuCentre-III 7000/6000/5000
25. DocuCentre-IV 3060/2060
26. ApeosPort-IV 4070/3070
27. DocuCentre-IV 4070/3070
28. ApeosPort-IV 7080/6080/5080
29. DocuCentre-IV 7080/6080/5080
30. 4112/4127
31. Binary update only
32. Exit

Enter Process No(1/2/3/4/5/6/7/8/9/10/11/12/13/14/15/16/17/18/19/20/
21/22/23/24/25/26/27/28/29/30/31/32)? : 31
```

- ② バイナリファイルをアップデートするか尋ねてきます。「y」を入力します。

```
Update Binaries?(y/n)[y]: y
```

注記 ▶ バイナリファイルのアップデートを行わない場合は、ここで中止してください、これ以降ではインストールを中止することはできません。

- ③ UNIXFilter のインストールされているディレクトリを尋ねられます、現在 UNIXFilter がインストールされているディ

レクトリを入力してください。以下の例は、デフォルトディレクトリにインストールされている場合です。デフォルト以外のディレクトリにインストールされた場合は、SunOS/Linux では、UNIXFilter のフィルタ及びユーティリティをインストールしたディレクトリ、Solaris/HP-UX では、ユーティリティをインストールしたディレクトリを、それぞれ入力してください。

[SunOS/Linux]

```
Enter library and binary installed directory.  
  
Enter library directory name[/usr/lib/fxps205]:  
  
directory is '/usr/lib/fxps205' (y/n)[n]:y  
'Delete all old library files...done  
  
Enter binary directory name[/usr/local/fxbin205]:  
  
directory is '/usr/local/fxbin205' (y/n)[n]:y  
'Delete all old binary files...done
```

[Solaris/HP-UX]

```
Enter binary installed directory name[/usr/local/fxbin205]:  
  
directory is '/usr/local/fxbin205' (y/n)[n]:y  
'Delete all old binary files...done
```

注記 ▶ ここで、存在しないディレクトリを入力された場合は、インストーラは処理を中止します、必ず UNIXFilter をインストールしたディレクトリを指定してください。

ソフトウェアがインストールされます。これでソフトウェアのアップデートは完了です。

```
done.
```

ソフトウェアのアップデートにより更新されるファイル

ソフトウェアのアップデートを行うと、次のファイルが更新されます。

[SunOS] (ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	sunras2ps2	SunRaster 変換ユーティリティ
	sunras2g4	SunRaster 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool	UNIX フィルタープリントツール
	Ufptool	UNIX フィルタープリントツールリソースファイル
/usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/fxps205	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	ラスター出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath205	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル

[Solaris] (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換フィルター
	sunras2ps2	SunRaster 変換フィルター
	sunras2g4	SunRaster 変換フィルター
	tiff2ps2	TIFF 変換フィルター
	tiff2g4	TIFF 変換フィルター
	xwd2ps2	XWD 変換フィルター
	xwd2g4	XWD 変換フィルター
	fxpif	給紙トレイ設定フィルター
	ufptool	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript	posteuc205	euc2ps2 を呼び出すシンボリックリンクファイル
	postfxps205	fxpif を呼び出すシンボリックリンクファイル
	fxbinpath205	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル

【Linux】 (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	fxoption	デフォルトコマンドオプションファイルの修正用コマンド
	ufptool	UNIX フィルタプリントツール
/usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタプリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/X11R6/lib/X11/app-defaults	Ufptool	UNIX フィルタプリントツールリソースファイル
/usr/lib/fxps205	fxpif	インプットフィルター
	fxpvf	XWD イメージ出力フィルター
	fxpof	アウトプットフィルター
	fxpg4f	G4 形式ラスター出力フィルター
	fxoption_exec	.fxpsdefault 内の各オプションを書き換えるためのファイル
	string_from_printcap	/etc/printcap の内容を書き換えるためのファイル
	fxbanner.ps	バナー出力ヘッダファイル
	fxpif_sample.sh	ネットワーク接続されたプリンタに出力する場合に利用する if フィルタースクリプトサンプル
	fxbinpath205	UNIX フィルタプリントツール用ディレクトリ記述ファイル

【HP-UX】 (フィルター格納ディレクトリ名はデフォルトのディレクトリです)

ディレクトリ	ファイル名	内容
/usr/local/fxbin205	euc2ps2	テキスト変換ユーティリティ
	xwd2ps2	XWD 変換ユーティリティ
	xwd2g4	XWD 変換ユーティリティ
	tiff2ps2	TIFF 変換ユーティリティ
	tiff2g4	TIFF 変換ユーティリティ
	ufptool	UNIX フィルタープリントツール
/usr/local/fxbin205/UFPDefault	.UFPDefault	UNIX フィルタープリントツールデフォルトコマンドオプションファイル
/usr/lib/lp/postscript205	Fxbinpath205	UNIX フィルタープリントツール用ディレクトリ記述ファイル

注記 ▶ このほかに、インストールされるファイルのオンラインマニュアルが更新されます。

注意制限事項

本アップデート版を用いて、インストールを行う際の注意制限事項です。

- バイナリアップデートを適用される場合、euc2ps2、sunras2ps2(SunOS/Solaris 版のみ)、tiff2ps2、xwd2ps2、などの各ユーティリティプログラムは更新されますが、Solaris、HP-UX での **lp コマンド使用時に指定できるオプションの追加は行われません**。追加機能ご使用の際は、各ユーティリティプログラムにて追加のオプションを指定してご使用ください。
- Solaris10 のクライアント・サーバー環境にてご使用の場合（シリアルケーブルまたは、パラレルケーブルを用いて接続しているローカルワークステーションに、リモートワークステーションから印刷指示をする場合）、印刷指示を行うリモートワークステーションと、プリンタの接続されたローカルワークステーションの OS のバージョンおよび UNIX フィルターのバージョンは同じものを使用して下さい。

2012 年 2 月
エイセル株式会社